

みんなのポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

資料編：共同研究経過記録

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2015-11-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉田, 繁治, 洪, 政国, 山本, 泰則 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/3635

G 共同研究経過記録

1986. 1. 14 共同研究開始

第1回合同研究会議

民博とIBM 東京基礎研究所関係者の相互紹介。

1. 29 第1回定例研究会議

共同研究推進のための基本事項についての意見交換。

2. 18 第2回定例研究会議

共同研究推進のための基本事項についての意見交換。

3. 20 第2回合同研究会議

東京基礎研究所におけるコンピューター、情報科学研究の紹介と、相互交流。

第3回定例研究会議： 画像処理試験結果の検討。

4. 8 第4回定例研究会議： 研究計画打ち合わせ。

5. 9 第5回定例研究会議： 研究計画打ち合わせ。

5. 27 第6回定例研究会議： 研究計画（案）作成。

6. 10 第3回合同研究会議： 研究計画（案）検討，修正。

7. 18 第1回研究報告会： 研究計画決定。

8. 7 第7回定例研究会議

試験データ選定方法と受け渡しスケジュールの打ち合わせ。

8. 8 第8回定例研究会議： 試験データ処理内容の打ち合わせ。

9. 1 第9回定例研究会議

試験データ受け渡しと処理内容のスケジュールの打ち合わせ。

以降，試験用標本画像，属性データの選定，受け渡し実施。標本資料の意味表現と属性検索方法について検討。民族学研究用画像検索システム（1.0版）の構築開始。

10. 1-3 昭和61年度後期情報処理学会全国大会で講演（広島）。

- 「民族学研究のための画像データベース管理システム」
- 「民族学研究のための画像検索ワークステーションについて」
- 「画像データベースシステムにおけるユーザインターフェイス」

12. 1 民族学研究用画像検索システム（1.0版）を構築。

12. 16 第4回合同研究会議

昭和61年度実施成果の検討および昭和62年度実施計画の検討。

1987. 1. 19 標本資料検索について、民博利用者へアンケート調査。

1. 26 第10回定例研究会議： 昭和62年度計画打ち合わせ。

2. 16 第11回定例研究会議

民族学研究用画像検索システム（2.0版）の基本概念，検索方法，
HRAF 利用について検討。

この間，「個人用標本ファイルなどの管理・利用方法」，「個人化」，「色彩情報の利用」，「HRAF/文化項目分類コードの利用」などについて民博で聞き取り調査，検討。

3. 18 昭和62年度前期情報処理学会全国大会で講演（千葉）。

•「民族学研究における標本資料情報の意味表現」

4. 27 第12回定例研究会議

民族学研究用画像検索システム（2.0版）のアプローチ，視覚化ユーザーインターフェースの中間成果の検討。

4. 28 IEEE Computer Society Symposium, System on Office Automation で講演（米，ワシントン DC）。

•“Image/Text Retrieval System on a LAN”

5. 18 情報処理学会データベースシステム研究会で講演（東京）。

•「民族学研究のためのカラー画像蓄積検索システム」

この間，民族学研究用画像検索システム（2.0版）を構築。「標本の特徴表現，理解および画像内容検索」について民博で聞き取り調査，検討。

7. 10 第13回定例研究会議

民族学研究用画像検索システム（2.0版）の成果，および今後の計画を検討。

7. 27 民族学研究用画像検索システム（2.0版）の一部を民博へ移植。

G 共同研究経過記録

以降、民博で民族学研究用画像検索システムを試験的に使用するとともに、デモンストレーションを通して評価、分析。画像の色情報と形状情報にもとづく画像類似検索方法について検討、試験システムの構築。HRAF/文化項目分類コードのPC上での概覧試験システムの構築。

9. 9 民博電子計算機運営委員会に民族学研究用画像検索システムを紹介デモ。

9.25 電子情報通信学会データ工学研究会で講演（東京）。

- ・「民族学研究のためのカラー画像情報システム」

9.28-30 昭和62年度後期情報処理学会全国大会で講演（札幌）。

- ・「形状特徴を用いた画像の内容依存型検索」
- ・「民族学研究用画像データベースの視覚化」
- ・「画像情報システムにおける目視検索について」
- ・「画像情報システムにおけるデータの取扱いについて」

この間、民族学研究用画像検索システム（2.1版）の検討、および構築。

11. 8-10 民博開館10周年記念行事『みんぱく こんびゅうとびあ』で民族学研究用画像検索システムを一般公開デモ。

以降、民族学研究用画像検索システム（2.11版）を構築。

12. 3 情報処理学会アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムで講演（東京）。

- ・「民族学研究用画像データベースにおけるユーザインタフェースの視覚化」

12. 9 第18回画像工学コンファレンスで講演（東京）。

- ・「多階層画像表示による画像の目視検索」

12.16 第14回定例研究会議

民族学研究用画像検索システム (2.11版), 画像類似検索 (形状および色特徴にもとづく) 試験システムおよび HRAF/文化項目分類コード概覧試験システムの評価と今後の計画を検討。

1988. 1.19 Her Royal Highness Chulabhorn, タイ王国, に民族学研究用画像検索システムを紹介デモ。

1.25 第2回研究報告会: 共同研究成果報告 (デモ含む)。

以降, 民博への試験システム技術移植のための作業開始。民族学研究用画像検索システム (2.12版) を構築。

2.24 「第21回館内合同研究会」で民博教官に本共同研究の成果を報告 (デモ含む)。

3. 『IBM Corp. 1987 Annual Report』に本共同研究について掲載。

3.24 第5回合同研究会議: 共同研究最終会議。

4.18 「報道関係者と館長との懇談会」で本共同研究の成果を公表 (デモ含む)。
関連記事掲載: 朝日新聞, 日本経済新聞, サンケイ新聞, 京都新聞 (以上4月19日), 日経産業新聞 (4月20日)。

すべての試験システムの技術移植とユーザーガイド作成完了。

5.18-21 『'88ビジネスショー』に民族学研究用画像検索システムを展示 (東京)。関連記事掲載: 毎日新聞 (5月19日)。

6. 『ACCESS May/June号』 (日本アイ・ビー・エム (株)) に本共同研究について掲載。

7.1 『画像電子学会会報』で共同研究の成果を紹介。

・「グループ紹介, 日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所画像処理応用システム」

9. 7-10 Cologne Computer Conference, Cologne University, Max Plank Institute, ICDBHSS, AHC, IFDO で講演 (西独, ケルン)。

- “A Color Image Database for an Ethnology Museum——A Multi-Window System for Electronic Cataloging and Browsing of Ethnological Samples on the PC——”
- 9. 12-14 昭和63年度後期情報処理学会全国大会で講演（京都）。
 - 「色情報に基づいた標本画像の類似度検索」
 - 「民族学研究のための画像データベース」
- 9. 29 民族学研究用画像検索システムが、NHK『ETV8』「ハイテクで挑む文化財保存」で紹介される。
- 9. 29-10. 1 The 12th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property——Analysis and Examination of an Art Object by Imaging Technique——, Tokyo National Research Institute of Cultural Properties で講演（東京）。
 - “Electronic Cataloging and Browsing of Ethnographic Samples”
- 11. 30 写真と印刷に関する講演会——最近のデジタルカラー画像処理——, 日本印刷学会・日本写真学会で講演（東京）。
 - 「デジタルカラー画像のデータベース化と応用例」
- 1989. 5. 『Think』（IBM Corp.）に本共同研究について掲載。
- 7. 『システム／制御／情報』（システム制御学会）で民族学研究用画像検索システムを紹介。
 - 「民族学研究のための画像データベース」
- 9. 1 情報処理学会人文科学とコンピューター研究会で講演（東京）。
 - 「繰り返し設計法によるユーザ・インタフェースの向上性」
- 9. 5-8 ICIP'89, IEEE で講演（シンガポール, シンガポール）。
 - “An Approach to Retrieving Images by Using Their Pictorial Features”

12. 『情報処理学会論文誌』に論文掲載。
- 「民族学研究支援のための標本画像検索システム」
1990. 5. 11 情報処理学会人文科学とコンピューター研究会で講演（大阪）。
- 「形状情報を用いた画像の類似検索システムの試作——民族学標本を例として——」
6. 29 The 11th International Korean Conference of Science and Technology, The Korean Federation of Science and Technology Societies で講演（韓国，ソウル）。
- “Image Storage and Retrieval, and Its Application to Museum”
1991. 3. 『情報処理学会論文誌』に論文掲載。
- 「形状情報を用いた画像の類似検索システム」
1991. 10. 20 情報処理学会研究賞受賞。
- 「形状情報を用いた画像の類似検索システムの試作——民族学標本を例として——」